

## ロゴタイプ制作方法(右図参照)

太宰治の直筆原稿(※)から「三鷹」「市」「立」などの文字をいくつも拾い出し(図1)、多くの同じ文字を重ね合わせることで筆跡の骨格となる線を浮き出させました(図3)。

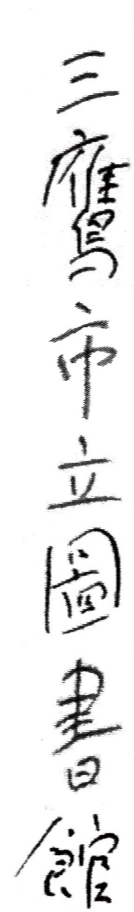
こうして抽出した骨格の線を基に、手書き文字の角が丸く隙間のある親しみやすい形のイメージを保ちつつ、少し太さを持たせて書体を整え、これらを組み合わせて作成しました(図4)。

また、直筆原稿では旧字体で表記されている「図書館」の「圖」については、他の文字を参考に新字体の「図」を作成しています。「鷹」や「館」なども、より読みやすくするため、文字を重ねる段階から調整をしています。

※『太宰治 直筆原稿集 DVD 版 第一巻～第三巻』(日本近代文学館編集、雄松堂書店製作発売 2014)を使用しました。

### 制作過程

図1



直筆原稿から拾い出した文字  
(『太宰治 直筆原稿集 DVD 版』より  
文字のみを抜粋し、組み合わせた例)

図2



拾い出した文字に調整を加え、  
半透明にして同じ文字を  
いくつも重ねたもの

図3



重ねた文字から  
浮き出す文字の骨格

図4



骨格を基に調整を加え、  
完成したロゴタイプ